遺愛学院創基 150 周年記念事業

HOEPFNER PIANO

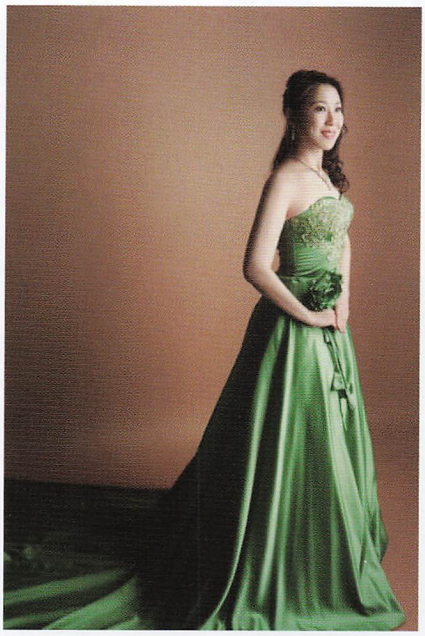
修復記念コンサート

三浦環がこのピアノと共に響かせた歌声の記憶に寄せて

ALL PUCCINI PROGRAM

ソプラノ　佐藤朋子　ピアノ　類家唯

プッチーニ没後 100 周年
オペラ《蝶々夫人》より
〈ある晴れた日に〉〈かわいい坊や〉他



遺愛学院講堂にて
演奏する三浦環
（1938）

2024 年 12 月 1 日（日）開場 14：30　開演 15：00

遺愛女子中学高等学校　本館講堂
函館市杉並町 23–11　（正面玄関より入場）
駐車場が少ないためできるだけ公共交通機関にて
お越しくださいますようお願いいたします。

お問い合わせ 0138-57-3116（佐藤）

チケット　2,000 円（当日 2,500 円）
学生　1,000 円
チケット取り扱い：遺愛女子中学高等学校事務室
0138-51-0418
河合楽器製作所函館ショップ
0138-52-2468

主催：教育音楽くるーぷどるちぇ　後援：函館市　函館市教育委員会　北海道新聞函館支社　函館新聞社
遺愛女子中学高等学校　遺愛女子中学高等学校同窓会　遺愛女子中学高等学校同窓会函館支部

遺愛学院創基150周年記念事業の一つとしてドイツのHOEPFNER社によるピアノが修復されました。このピアノは1927年の創立45周年の際に在校生の父母の寄付によって本館講堂に設置されるために購入されたもので、待望のグランドピアノとして大切に使われてきましたが、長い年月の中で使用が難しくなっていました。しかしながら、この度、小川ピアノ工房の小川進氏によって修復され、当時のドイツの温かく豊かな美しい響きを奏でる楽器として復活しましたので、これを記念してお披露目コンサートを行います。

このピアノで1938年に三浦環が遺愛学院講堂において公演した経緯もあり、三浦環の代名詞とも言えるオペラ《蝶々夫人》など、没後100周年のプッチーニ作曲の作品をオール・プッチーニ・プログラムとしてお届けし、このピアノの函館におけるその歴史的価値を皆様と共有したいと存じます。

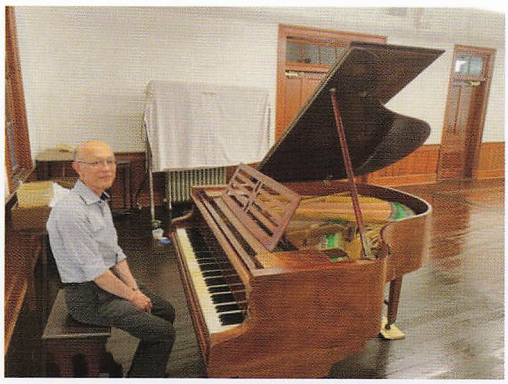
佐藤朋子（ソプラノ）

遺愛女子高等学校卒業。東京藝術大学音楽学部声楽別科修了。武蔵野音楽大学卒業。同大学院修士課程修了。イタリア・ミラノ音楽院、武蔵野音楽大学大学院博士後期課程にてイタリア・オペラの研究を積む。第１回函館市青少年芸術教育奨励事業音楽部門最高賞金賞受賞。2005 年函館音楽協会奨励賞受賞。第３回ベルカント・ソプラノ・コンコルソ第１位、及び観客賞受賞。第 146 回日演連推薦新人演奏会オーディションに合格し札幌交響楽団と共演。2009 年函館市文化団体協議会青麒賞受賞。2022 年函館市制施行 100 周年記念式典にて国歌独唱。日本国内外でコンサート活動を行い、オペラ公演ではソプラノ・リリコのレパートリーを有する。演奏活動の他、さまざまな教育の場での音楽指導、合唱指導を行っている。
日本演奏連盟、北海道二期会、函館音楽協会、函館の文学と音楽の会、教育音楽ぐるーぷ・どるちえ、ハイメス・アーティスト各会員。細谷　悦子、菊池　初美、中村　浩子、エレーナ・オブラスツォワ、マリア・ミネット、ラウラ・ロンディ、郡司　忠良、三部安紀子、立野至美各氏に師事。
遺愛女子中学高等学校教諭。

類家唯（ピアノ）

京都市立芸術大学を卒業後、ドイツへ留学し、ハノーファー音楽演劇大学を卒業。ピアノを新明真貴、布施谷信子、野呂佳生、宮澤功行、田中宏明、岡田敦子、松田康子、E.スティーン＝ネックレベルクの各氏に、ピアノデュオを阪田誠康氏に、ソルフェージュを佐々木茂氏に師事。第 52 回全日本学生音楽コンクール北海道大会中学生の部で第 2 位。第 7 回 AOCC 子供の為の海外派遣コンクールピアノ中学生部門にて最優秀賞、及び札幌市教育長賞を受賞。函館市青少年芸術教育奨励事業コンクール（1999 年、2002 年）金賞。第 15 回吹田音楽コンクールピアノデュオ部門第 2 位。第 6 回かずさアカデミア音楽コンクールピアノ部門第 1 位。第 2 回野島稔・よこすかピアノコンクール最高位。函館では函館市民オーケストラ（石崎真弥奈指揮）、函館吹奏楽団（阿部哲治指揮）と共演。2013 年益田喜頓賞を受賞。2022 年函館市制施行 100 周年記念式典にて市立函館高等学校吹奏楽局（澤邊諒指揮）とガーシュイン作曲ラプソディー・インブルーを共演。令和 4 年度函館市文化団体協議会青麒章を受章。クレアシオン、日本ピアノ教育連盟会員。Hakodate Music Academy 講師。

小川ピアノ工房　小川進



函館および道南を中心に、道央（札幌近郊）までを主なエリアとし、ピアノ調律、調整、修理を行う。20 数年地元のメーカーに所属し、2003 年に独立。不要になったピアノ買取り後修理再生し、市場に戻すという仕事では各ピアノ個性を最大限に引き出し、常にハイクオリティの仕上がりを目指している。他にコンサート調律、パイプオルガンメンテナンス、チェンバロ調律も手がける。日本ピアノ調律師協会会員、スタインウェイ会会員、スタインウェイ会技術研修 B グレード取得、ピアノ調律技能検定 1 級取得。